

おおた文化の森

大田文化の森運営協議会
情報誌 大田文化の森運営協議会発行情報誌
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

2014
記念号

Vol.

50

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたりごあいさつ申し上げます。

この度、大田文化の森運営協議会情報誌が50号を迎え、記念号として発行することとなりました。諸先輩方のご努力により、現在季刊誌として約1万部を発行しております。これまでご支援、ご協力いただいた多くの方々に感謝致しますと共に御礼申し上げます。今後も「情報誌」を中心に幅広く広報活動を行って参りますので、各媒体を通じまして、運営協議会への注目をお願い致します。



運営協議会は現在第5期を迎えております。過去十数年多くの区民の皆様が活発に文化活動を行ってまいりました。さまざまな活動がさらに楽しく、そしてより親しみある活動に発展されるよう支援するために、運営協議会はこの度会則の見直しに着手致しました。公平性、公開性、透明性をモットーに、多くの皆様に親しまれる運営協議会を目指し進めて参りたいと思っております。又地域の皆様ともさらなる「絆」を深め、協働して行きたいと望んでおります。

今後とも運営協議会に対し、ご支援、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

大田文化の森運営協議会会長 後藤 展行



こちらの会館の4階に大田文化の森運営協議会の事務局があります。

年頭のごあいさつ

大田文化の森運営協議会会長から新年のごあいさつです。[こちらからご覧下さい](#)
また、50号を記念し、創刊期に人気だったオリジナルキャラクター「森のはっぴ〜」や過去の情報誌の表紙を飾る予定だった登場人物などをご紹介します。

運営協議会ガイド

運営協議会って何?!

大田文化の森運営協議会は、大田文化の森を拠点に区民の主体的な文化活動を支援するため事業運営を行っている組織です。なかなかわかりにくい活動内容をご紹介します。

「文化の森」を知ろう!

～施設のご紹介～

「大田文化の森」は、様々な施設を有する複合文化施設です。そんな文化施設を、運営協議会では、文化プレーヤーのみなさんがいろんな企画を施設を利用して実施しています。その様々な施設をご紹介します。

2014年度公募企画紹介

今春4月から始まる2014年度の公募企画が決まりました。決定した公募企画をご紹介します。

文化の森館長からのご挨拶 ～愛される文化の森を目指して～

大田文化の森館長 薄根 幸から、50号発行にあわせてご挨拶です。

～歴代編集長からのメッセージ～

発刊50号（記念号）に寄せて

歴代の情報誌編集長からメッセージをいただきました。

「公益財団大田区文化振興協会のご紹介」

文化の森他様々な文化施設を管理運営している公益財団法人大田区文化振興協会の活動内容のご紹介です。

情報誌の創刊期に大人気だった運営協議会のイメージキャラクター「森のはっぴ〜」が、創刊50号を記念して、大復活！「森のはっぴ〜」は、文化の森に棲む森の妖精だよ。



イベント開催情報
「文化の森何でもあり」

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちょっといい話」(300字以内)を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合は、info@ota-bunkanomori.jpまで。

誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話: 03-3772-0770
FAX: 03-3772-0704

■ 往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.50Web版
2014年1月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 池田 昭宣
Design: NPO法人クリエイター支援機構

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX 03-3772-0704
E-mail: info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■ おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

＊ ＊過去の情報誌で表紙に掲載するはずだった馬込文士村で創作活動を行った作家のみなさんが情報誌50号創刊記念に、大集合!! ＊ ＊

Vol.19(2006年春号)まで登場した内容です。

[過去のバックナンバーはこちらからご覧下さい。](#)

登場予定だった表紙の人物たち



おおた文化の森情報誌創刊50号を記念して、運営協議会ガイドブックとして発行しています。

おおた文化の森

大田文化の森運営協議会
情報誌 大田文化の森運営協議会発行情報誌
http://www.ota-bunkanomori.jp/

2014
記念号

Vol.

50

運営協議会って何?!

大田文化の森運営協議会(以下「運営協議会」に略称する)は、大田文化の森を拠点に区民の主体的な文化活動を支援するため事業運営を行っている組織です。主に、区民が企画実施する活動のオブザーブやコーディネートを行っています。運営組織は、大田区長より委嘱された区民10数名で構成した運営協議会委員で運営しています。任期は3年間です。

また、区民の主体的な文化活動が円滑に行えるよう、「文化プレーヤー」という文化ボランティアと共に、運営協議会が主催する様々な企画の立案と実施をしています。あらゆる方向から支え合うボランティアを目指して設けられています。「文化プレーヤー」という言葉には、「楽しむ・遊ぶ・表現する・演じる」という意味が込められています。

「文化プレーヤー」は登録制です。報酬のない無償ボランティアです。区民のみなさんはどなたでも登録できます。登録すると、会員証を取得できます。「文化プレーヤー」は、以下のような特典(助成)を受けることができます。



ホールイベントの様子(キッズダンス)

年頭のごあいさつ

大田文化の森運営協議会会長から新年のごあいさつです。[こちらからご覧下さい](#)
また、50号を記念し、創刊期に人気だったオリジナルキャラクター「森のはっぴ〜」や過去の情報誌の表紙を飾る予定だった登場人物などをご紹介します。

運営協議会ガイド

運営協議会って何?!

大田文化の森運営協議会は、大田文化の森を拠点に区民の主体的な文化活動を支援するため事業運営を行っている組織です。なかなかわかりにくい活動内容をご紹介します。

「文化の森」を知ろう!

～施設のご紹介～

「大田文化の森」は、様々な施設を有する複合文化施設です。そんな文化施設を、運営協議会では、文化プレーヤーのみなさんがいろんな企画を施設を利用して実施しています。その様々な施設をご紹介します。

2014年度公募企画紹介

今春4月から始まる2014年度の公募企画が決まりました。決定した公募企画をご紹介します。

文化の森館長からのご挨拶 ～愛される文化の森を目指して～

大田文化の森館長 薄根 幸から、50号発行にあわせてご挨拶です。

～歴代編集長からのメッセージ～

発刊50号(記念号)に寄せて

歴代の情報誌編集長からメッセージをいただきました。

「公益財団大田区文化振興協会のご紹介」

文化の森他様々な文化施設を管理運営している公益財団法人大田区文化振興協会の活動内容のご紹介です。



夏祭りの様子 (盆踊り)



広場イベントの様子 (チアリーディング)

イベント開催情報
「文化の森何でもあり」

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちょっといい話」(300字以内)を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合は、info@ota-bunkanomori.jpまで。

誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■ 往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.50Web版

2014年1月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 池田 昭宣

Design: NPO法人クリエイター支援機構

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail: info@ota-bunkanomori.jp

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■ おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

文化プレーヤー特典

- ① 企画の立案と実施ができる。
- ② 企画のサポートができる。(受付・案内・舞台サポート・写真/ビデオ撮影・パソコン作業等)
- ③ 優先的に施設利用予約ができる。(施設使用料・付帯設備利用料免除)
- ④ 運営協議会の広報誌無料配布(季刊誌情報誌・文化プレーヤー通信)
- ⑤ 運営協議会関連媒体への広報活動・PRを無料で行うことができる。(チラシ作成含む)

※運営協議会関連媒体(運営協議会発行季刊情報誌・運営協議会ホームページ・文化プレーヤー編集ミニコミ誌「文化プレーヤー通信」・大田区発行情報誌「Art menu」・大田区報・大田ケーブルTV等)

文化プレーヤー(ボランティア)募集

大田文化の森運営協議会では、日頃から多彩な催しを行っていますが、その実施にあたって企画・立案、サポート、さらに講師・出演者としての登録や写真・ビデオ撮影など文化活動を支える良き仲間を募っています。この文化プレーヤー(ボランティア)のプレーヤーという言葉には「楽しむ・遊ぶ・表現する・演じる」という意味が込められています。ご希望される方は文化の森4階運営協議会事務局までお問い合わせください。

※大田文化の森運営協議会ホームページからも登録することができます。

<http://www.ota-bunkanomori.jp>

■ 受付時間：月～金曜 9:00～18:00

■ 電話：03-3772-0770 FAX：03-3772-0704

■ 住所：〒143-0024 大田区中央2-10-1

おおた文化の森

大田文化の森運営協議会
情報誌 大田文化の森運営協議会発行情報誌
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

2014
記念号

Vol. 50

「文化の森」を知ろう!

～施設のご紹介～

「大田文化の森」は、様々な施設を有する複合文化施設です。そんな文化施設を、運営協議会では、文化プレーヤーのみなさんがいろんな企画を施設を利用して実施しています。今回は、企画を通してながら、様々な施設をご紹介します。読者のみなさんも、私はこんな使い方がしたい、僕はあんな使い方ができるなど想像しながらご覧ください。



文化の森ホール



文化の森ホール 音楽イベントの様様



多目的室 (5階)



多目的室 (5階) 文化の森フォーラムの様様

年頭のごあいさつ

大田文化の森運営協議会会長から新年のごあいさつです。[こちらからご覧ください](#)
また、50号を記念し、創刊期に人気だったオリジナルキャラクター「森のはっぴ〜」や過去の情報誌の表紙を飾る予定だった登場人物などをご紹介します。

運営協議会ガイド

運営協議会って何?!

大田文化の森運営協議会は、大田文化の森を拠点に区民の主体的な文化活動を支援するため事業運営を行っている組織です。なかなかわかりにくい活動内容をご紹介します。

「文化の森」を知ろう!

～施設のご紹介～

「大田文化の森」は、様々な施設を有する複合文化施設です。そんな文化施設を、運営協議会では、文化プレーヤーのみなさんがいろんな企画を施設を利用して実施しています。その様々な施設をご紹介します。

2014年度公募企画紹介

今春4月から始まる2014年度の公募企画が決まりました。決定した公募企画をご紹介します。

文化の森館長からのご挨拶 ～愛される文化の森を目指して～

大田文化の森館長 薄根 幸から、50号発行にあわせてご挨拶です。

～歴代編集長からのメッセージ～ 発刊50号 (記念号) に寄せて

歴代の情報誌編集長からメッセージをいただきました。

「公益財団大田区文化振興協会のご紹介」

文化の森他様々な文化施設を管理運営している公益財団法人大田区文化振興協会の活動内容のご紹介です。



集会室1～4（3階・4階）



集会室（4階）ワークショップ実施中の模様

イベント開催情報
「文化の森何でもあり」

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちょっといい話」(300字以内)を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合は、info@ota-bunkanomori.jp まで。

誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。



和室（3階）



和室（3階）親子で楽しむ企画の模様

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704

■ 往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号 (FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.50Web版
2014年1月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 池田 昭宣
Design: NPO法人クリエイター支援機構

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■ おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。



調理室（3階）



調理室（3階）料理企画実施の模様



展示コーナー（1階）



展示コーナー（1階）公募企画展示の模様



スポーツスタジオ（1階）



スポーツスタジオ（1階） ダンス企画の様様



美術室（3階）



工芸室（3階）



スポーツスタジオII スカッシュコート（1階）



音楽室スタジオ（1階）
※音楽スタジオは1～3あります



ティーラウンジすばるで、
コーヒープレイクはいかが

広場に面した、まるくのぞいたガラス張りの喫茶店。それが、
ティーラウンジ「すばる」です。

知的障害者の就労支援の場として、大田区知的障害者育成
会が運営させていただいています。より多くの区民の皆様との
ふれあいの場として、今後も活動を続けて参ります。

香り高いコーヒーと、気軽なお食事メニューで、ご来店をお待
ちしています。



営業時間 10:00～17:30

TEL 03-3772-4050

定休日 隔週月曜日・全館休館日



Copyright © 2006 OTA Bunkano Mori. All rights reserved.

おおた文化の森

大田文化の森運営協議会
情報誌 大田文化の森運営協議会発行情報誌
http://www.ota-bunkanomori.jp/

2014
記念号

Vol.

50

2014年度公募企画紹介

あなたの提案企画が実現!!～2014年度公募11企画決定～

今春4月から始まる2014年度の公募企画が決まりました。「大田文化の森運営協議会」では、昨年秋に公募企画を募集し、24企画という多数の応募がありました。この公募事業は例年実施しており、区民文化活動の支援という設立趣旨に沿った事業の、大きな柱の一つとなっています。採択にあたっては、運営協議会委員全員が書類審査、面接を行って慎重かつ透明度の高い検討を経て、最高決議機関である文化会議に諮って最終選考しました。その結果、応募の中から11企画を採用させていただきました。採択された企画は、今後私ども委員が企画から実施までを全面的にサポートし、「区民文化の創造と発信」にふさわしい内容として、魅力的な企画の実現に向けて取り組んで参ります。楽しく、面白く、ためになるユニークな企画が揃いましたので、どうぞご期待ください。なお開催日、参加費、具体的な内容などは追って本誌イベント情報欄などで紹介していきますが、都合により名称等変更になる場合もありますのでご了承ください。4月から順次開催の11企画は以下の通りです。

1. ホール企画

(1) みんなで楽しむコンサート

2. 集会室企画

- (1) 「ケガをしない体を作る」& 「見た目年齢を若くする」実践講座
- (2) 13弦の小さなお箏・文化箏講座
- (3) 消しゴムはんこを彫って、押してミニバックをつくろう
- (4) 作って楽しい! はいてかわいい手づくりルームシューズ
- (5) 心豊かに暮らす～楽しく経済・金融・証券について学ぼう
- (6) 心とからだの健康法 フェルデンクライス メソッド
- (7) 親子で! ドライモスの動物トピアリーを作ろう
- (8) 美味しく食べて内臓から元気! 試食付ワークショップ

3. スポーツスタジオ企画

- (1) アンチエイジングロコモ体験
- (2) 「笑いヨガ」で～ワハハッ!

※写真は昨年度実施の公募企画の様子

年頭のごあいさつ

大田文化の森運営協議会会長から新年のごあいさつです。[こちらからご覧下さい](#)
また、50号を記念し、創刊期に人気だったオリジナルキャラクター「森のはっぴ〜」や過去の情報誌の表紙を飾る予定だった登場人物などをご紹介します。

運営協議会ガイド

運営協議会って何?!

大田文化の森運営協議会は、大田文化の森を拠点に区民の主体的な文化活動を支援するため事業運営を行っている組織です。なかなかわかりにくい活動内容をご紹介します。

「文化の森」を知ろう!

～施設のご紹介～

「大田文化の森」は、様々な施設を有する複合文化施設です。そんな文化施設を、運営協議会では、文化プレーヤーのみなさんがいろんな企画を施設を利用して実施しています。その様々な施設をご紹介します。

2014年度公募企画紹介

今春4月から始まる2014年度の公募企画が決まりました。決定した公募企画をご紹介します。

文化の森館長からのご挨拶 ～愛される文化の森を目指して～

大田文化の森館長 薄根 幸から、50号発行にあわせてご挨拶です。

～歴代編集長からのメッセージ～ 発刊50号(記念号)に寄せて

歴代の情報誌編集長からメッセージをいただきました。

「公益財団大田区文化振興協会のご紹介」

文化の森他様々な文化施設を管理運営している公益財団法人大田区文化振興協会の活動内容のご紹介です。



セタコンサート



目からウロコ！骨盤体操&健康管理術



「リペア名人になろう！」

文化の森館長からのご挨拶

～愛される文化の森を目指して～

情報誌「おおた文化の森」創刊50号の発行、おめでとうございます。これまでの編集作業へのご尽力に心から感謝申し上げます。平成13年11月3日に誕生した文化の森は今年で13歳を迎えます。人の一生にさまざまな節目があるように、当館も悩み多きお年頃になって参りました。

お手入れが良いせいか、見た目は若くてピカピカですが、実はお肌が荒れていたり骨や内臓にもガタがきています。クリームやパックだけでは修復できず、しっかり治すためにはたくさんお金がかかるのが悩みの種です。

それでも、気持ちは開館当時のまま。多くの皆さまがこの森に集まって、自らが企画して学んだり演じたりして交流して下さることが何よりの喜びです。そのために、安全で使い勝手の良い、居心地のよい空間と爽やかな笑顔でお迎えしたいと日々努力しています。

どうかこの森が大きく育つよう、これからも種を蒔き、水をやり、収穫し続けてください。皆さまにいつまでも愛される文化の森になりたいと願っています。



イベント開催情報 「文化の森何でもあり」

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちょっといい話」(300字以内)を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合は、info@ota-bunkanomori.jpまで。

誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.50Web版
2014年1月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 池田 昭宣
Design: NPO法人クリエイター支援機構

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

～歴代編集長からのメッセージ～

発刊50号（記念号）に寄せて

創刊時のことです。運営協議会は、広報部(5名)を組織してスタートしました。当時の情報誌の予算は0、無から有を生み出す作業でした。区の情報誌に広告を入れ、区施設に置けるのか？長野県東部町施設周辺地図に広告を入れた前例ありで、広告OK！。広告料は、作成経費の総額から割り出すとのアドバイスを受け、決定。メンバー5名で役割分担[広告取り、編集長、ライター、最終レイアウト、全体の調整]して創刊。次は、どこに配布(置く)するか？交換便で大田区各施設に、郵送で区内郵便局に、直接持ち込みで周辺の小・中学校(家庭数)や民間施設に、配布しました。毎回、大変な作業でしたが、皆、創る喜びと意義を感じ、楽しく、良い思い出となっています。

(初代・4代目編集長 河合 良治)

久々に、運営協議会のページを拝見して、初期の情報誌の表紙が掲載されているのを見つけ懐かしく思いました。

情報誌の歴史は、文化の森運営の縮図と感じています。

初代の運営委員は年齢層も幅広く、当時学生だった私。

振り返ると、この役割を任せられ、発行を継続することで精一杯でした。取材をする人、記事を書く人、原稿を整理する人、広告をお願いに回る人、当時はすべて運営委員が担当し、誰一人欠けても成り立たなくなるのでは、という危機感がありました。そうした危機意識がもとになり、文化プレーヤーも関わる現在の体制ができ、今日まで発行が続いていると思います。

(3代目編集長 加藤 光)

密生する文化の森

情報誌は50号全巻にわたって、文化の森を舞台に活躍される「個人」と「グループ」の志や想いを紹介してきました。さらにこの「個人」と「グループ」の活動が総合されて、「文化の森全体」が成長し繁茂していく姿を辿ってきました。

わが街大田区に住む喜びや誇りを、認め合う感動を記録してきました。そして文化の森には 一本の銘木は要らない、様々な木々が密生する文字通り「森」であることを語ってきたと思います。

(5代目編集長 福野 幸雄)

私が携わったのは運協が10周年を迎えた2010夏36号から12年春43号までの2年間。10周年を期に「森からジャンプ！」をスローガンに、さまざまな面でリフレッシュして文化活動の“場”を広げる機運が高まったので、情報誌の取材のフィールドも広めて大田区全域にした。それによって機関紙的な色合いから、タウン誌的な俗っぽい内容になったのでは？といったご意見を一部読者から伺ったこともありましたが、まあチャレンジはどこの世界でもなくしたくない精神。その後残った1年の任期を編集人という立場で、楽しみながら仲間と一緒に紙面作りをしたのが懐かしい思い出です。

(6代目編集長 池田 敏夫)

創刊50号発行、ほんとうにおめでとうございます。現在進行形で編集作業に参画しています現役委員です。

運営協議会も早いもので第5期の運営委員を迎え、暗中模索の変革期をどう乗り切っているのか試行錯誤の日々を過ごしています。情報誌の編集作業に関しましても、刷新・改訂版の時期となっていますので、諸先輩の方々のご指導やご鞭撻をいただくことがあると思いますが、その時はどうぞよろしくお願い致します。

また、今回の情報誌は創刊50号記念号と称しまして、運営協議会ガイドブックとして発行させていただきました。読者のみなさんにより身近に運営協議会を感じていただくため、発案しました。次号、51号発行に際しては、初心に戻って新たにスタートする気持ちで、今後も情報誌

に携わっていきます。

(現編集長 池田 昭宣)

Copyright © 2006 OTA Bunkano Mori. All rights reserved.

おおた文化の森

大田文化の森運営協議会
情報誌 大田文化の森運営協議会発行情報誌
http://www.ota-bunkanomori.jp/

2014
記念号

Vol.

50

「公益財団大田区文化振興協会のご紹介」

情報誌「大田文化の森」創刊50号発行おめでとうございます。

年4回発行と聞いていますが、これまでの機関紙を並べてみると年月を感じざるを得ません。

大田文化の森運営協議会の委員の方々をはじめ、文化プレーヤーとして活動を支えていただいた方々に、改めて感謝と御礼を申し上げます。

さて、私ども(公財)大田区文化振興協会は、昭和62年7月1日に設立され、当初は昭和62年10月末に開設された下丸子の「区民プラザ」を運営し活動していましたが、龍子記念館、区民ホール・アプリコ、大田文化の森など、運営・活動の場を増やしてまいりました。現在では、龍子画伯の居宅であった龍子の居宅であった龍子公園、熊谷恒子記念館、山王草堂、尾崎士郎記念館も管理運営しています。

区民プラザ、アプリコ等のホールを持つ各施設では、音楽、舞踊、伝統芸能などの公演を行うほか、大田区在住作家による絵画・立体の展覧会をアプリコ展示室で毎年行っています。このほか、龍子記念館や熊谷恒子記念館では、通常展や特別展で、所蔵作品をテーマ設定しながら展示しています。また、初心者のための入門講座や区内小中学校へのアウトリーチ(出前)プログラムなどの普及事業も行っております。

文化振興協会の役割は、「大田区における文化芸術の振興を図り、もって地域の活性化と魅力ある文化のまちづくりに寄与する」ことを目的としています。

その目的のために、先に掲げた各施設を管理運営するとともに、さまざまな公演、展覧会や普及啓発活動を通じて区民の皆様へ、「文化芸術の鑑賞」「文化芸術の普及・育成支援」「地域文化の保存育成」の機会を提供できるよう活動を行っております。また、区内にある文化芸術活動の団体支援も行っております。

主な事業は、アプリコ大ホールでは、客席数と特性を生かしながら、クラシック、合唱、ダンス、演歌などのほか、アマチュア音楽祭やオペラ、ミュージカル、ファミリー向けプログラムなども行っています。アプリコ小ホールでは、室内楽、各種ミニコンサートやワークショップなどを実施しています。プラザ大ホールでは、

ジャズや落語、映画、文楽などの公演があります。小ホールでは、毎月行っている落語、ジャズをはじめとした定期公演があり、常連のお客様に喜んでいただいています。また、公演内容については、文化の森のプログラムとできるだけ重ならないように、運営協議会の活動情報を確認しながら企画を考えています。

昨年、NHK「新日曜美術館」で「龍子記念館」を紹介していただき、川端龍子の作品の数々

年頭のごあいさつ

大田文化の森運営協議会会長から新年のごあいさつです。[こちらからご覧下さい](#)
また、50号を記念し、創刊期に人気だったオリジナルキャラクター「森のはっぴ〜」や過去の情報誌の表紙を飾る予定だった登場人物などをご紹介します。

運営協議会ガイド

運営協議会って何?!

大田文化の森運営協議会は、大田文化の森を拠点に区民の主体的な文化活動を支援するため事業運営を行っている組織です。なかなかわかりにくい活動内容をご紹介します。

「文化の森」を知ろう!

～施設のご紹介～

「大田文化の森」は、様々な施設を有する複合文化施設です。そんな文化施設を、運営協議会では、文化プレーヤーのみならずいろいろな企画を施設を利用して実施しています。その様々な施設をご紹介します。

2014年度公募企画紹介

今春4月から始まる2014年度の公募企画が決まりました。決定した公募企画をご紹介します。

文化の森館長からのご挨拶 ～愛される文化の森を目指して～

大田文化の森館長 薄根 幸から、50号発行にあわせてご挨拶です。

～歴代編集長からのメッセージ～ 発刊50号(記念号)に寄せて

歴代の情報誌編集長からメッセージをいただきました。

「公益財団大田区文化振興協会のご紹介」

文化の森他様々な文化施設を管理運営している公益財団法人大田区文化振興協会の活動内容のご紹介です。

が放映されました。また、「八重の桜」では、新島襄や徳富蘇峰の関係から取材を受け、大森の「山王草堂」が紹介されました。このように、大田区においては、文化芸術に関わる内容について様々な形で「大田区文化振興協会」は関わっています。

大田文化の森についても、運営協議会の多くの方々との関係を強化しつつ、それぞれの立場を生かしながら、区民の方々に文化芸術に関する内容をお届けできるよう努力していくつもりです。

どうぞこれからも、よろしくお願い申し上げます。

(大田区文化振興協会事務局長 藤田正人)

イベント開催情報
「文化の森何でもあり」

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちょっといい話」(300字以内)を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合は、info@ota-bunkanomori.jpまで。

誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話: 03-3772-0770
FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.50Web版
2014年1月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 池田 昭宣
Design: NPO法人クリエイター支援機構

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX 03-3772-0704
E-mail: info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。



下丸子 区民プラザ



区民ホールアブリコ



大田文化の森



山王草堂



龍子記念館



熊谷恒子記念館



2013アマチュア音楽祭
(アプリコ・ミュージック・アカデミー)



2013アマチュア音楽祭
(サンバ de プラス・カーニバル)



2013アマチュア音楽祭
(ダンス・ダンス・ダンス)

おおた文化の森

大田文化の森運営協議会
情報誌 大田文化の森運営協議会発行情報誌
http://www.ota-bunkanomori.jp/

2014
記念号

Vol.

50

イベント開催情報 「文化の森何でもあり」

ホール・多目的室

■カントリーミュージック in おおた

古くて新しいカントリーミュージックを会場全体でワイワイガヤガヤ！歌って踊って盛り上がりましょう！！

□日時:2月8日(土)13:30~15:30 開場13:00 □会場:5階 多目的室 □参加費:1000円(飲み物付き) □対象:どなたでも □定員:150名 □チケット販売:2013年12月10日より運営協議会事務局で販売

■広沢虎造の世界「馬鹿は死ななきゃ治らない」

一世を風靡した浪曲師 広沢虎造の世界を、息子山田二郎が語り、広沢虎春が再現する。

□日時:2月21日(金)13:30~15:30 □会場:大田文化の森ホール □参加費:500円 □対象:どなたでも □定員:抽選で150名 □申込:2月10日(月)必着

■文化の森シネマ館「じんじん」

北海道剣淵町の実話に基づき、豊かな心を育む「絵本の力」と「親子の絆」を描く映画。総務省後援の「地域の絆」の大切さを伝える全国展開作品。

□日時:3月7日(金)14:00~16:30 □会場:大田文化の森ホール □特別試写会につき入場料不要 □対象:どなたでも □定員:抽選で200名 □申込:2月24日(月)必着

■文化の森「多世代お茶処」お楽しみDay

ライアー(竖琴)の演奏、多世代交流実践の講演後、リボンアート、クレイアートなどを体験しながら、赤ちゃん連れからお年寄りまでの多世代交流を楽しむ。

□日時:3月16日(日)13:00~16:00 □会場:5階多目的室 □参加費:800円(中学生~79歳)・小学生以下と80歳以上の方は無料 □対象:どなたでも(未就学児同伴可) □定員:抽選で120名 □申込:2月28日(金)必着

■歌ひろば パートⅡ

歌うことによって元気になれる。歌声喫茶を思い出し、思い出の童謡唱歌、ラジオ歌謡等を思い切り歌いましょう！

□日時:3月17日(月)13:30~16:00 □会場:5階多目的室 □参加費:300円 □対象:どなたでも □定員:抽選で180名 □申込:3月3日(月)必着

体験してみよう

■平成の寺子屋『江戸の粋(いき)』

江戸っ子の「粋」の世界の真髄を、各分野の講師5名が講義と実技を通して再考、体感します。

年頭のごあいさつ

大田文化の森運営協議会会長から新年のごあいさつです。[こちらからご覧ください](#)
また、50号を記念し、創刊期に人気だったオリジナルキャラクター「森のはっぴ〜」や過去の情報誌の表紙を飾る予定だった登場人物などをご紹介します。

運営協議会ガイド

運営協議会って何?!

大田文化の森運営協議会は、大田文化の森を拠点に区民の主体的な文化活動を支援するため事業運営を行っている組織です。なかなかわかりにくい活動内容をご紹介します。

「文化の森」を知ろう!

～施設のご紹介～

「大田文化の森」は、様々な施設を有する複合文化施設です。そんな文化施設を、運営協議会では、文化プレーヤーのみならずいろいろな企画を施設を利用して実施しています。その様々な施設をご紹介します。

2014年度公募企画紹介

今春4月から始まる2014年度の公募企画が決まりました。決定した公募企画をご紹介します。

文化の森館長からのご挨拶 ～愛される文化の森を目指して～

大田文化の森館長 薄根 幸から、50号発行にあわせてご挨拶です。

～歴代編集長からのメッセージ～ 発刊50号(記念号)に寄せて

歴代の情報誌編集長からメッセージをいただきました。

「公益財団大田区文化振興協会のご紹介」

文化の森他様々な文化施設を管理運営している公益財団法人大田区文化振興協会の活動内容のご紹介です。

□開催日時:2月1日・22日(土) 18:30~20:00、3月1日・8日(土) 18:00~21:00 □会場:3階 和室・4階 第3集会室 □対象:成人男女 □参加費:3000円(4回分) □定員:抽選で30名 □申込:1月15日(水)必着

■節分だ!手づくりの恵方巻き(花巻寿司)を作ろう!

恵方巻きの由来、食べ方の説明を受け、花巻の恵方巻きを作る。豆まきも一緒に楽しみ、日本の食文化を次世代につなげる。

□日時:2月2日(日)10:00~13:30 □会場:3階 調理室 □対象:小学生以上 □参加費:500円 □定員:抽選で30名 □申込:1月21日(火)必着 □保育:有(事前申込み制)定員5名 500円/人・回

■文化の森でお正月を楽しもう!

平成26年 明けましておめでとうございます。新年の幕開けを、一緒に楽しみましょう!!

□開催日時:2014年1月5日(日)10:00~16:30 □会場:広場・ホール・多目的室・1階第1音楽スタジオ・3階 美術室・4階 第3/4集会室 □対象:どなたでも □内容:餅つき・獅子舞・お囃子・昔遊び・大道芸・子ども落語/日本舞踊発表会・着物ファッションショー・書き初め・和服の着付け・縁日・模擬店

ホームページから参加申込が可能なイベント

ホームページからも参加申込ができるようになりました。

※往復はがきでの申込みもできます。

<http://www.ota-bunkanomori.jp/event.html>

■子ども英語リトミック

英語の歌を歌いながら、楽しく英語のリズムを身につけましょう!

□日時:2月15日・22日(土) 13:30~15:00 □会場:1階第1スポーツスタジオ □対象:4歳~小学3年生 □参加費:300円(2回分) □定員:抽選で20名 □申込:1月25日(土)必着(HPからの申込可)

■心豊かに暮らす~楽しく生きた経済を学ぼう(6回制)~

経済・金融を理解し、お金の役割、証券、株式の基本を楽しく学ぼう。

- ①お金の役割・証券市場の仕組み
- ②金融商品の選び方
- ③世界と日本の経済・金融情勢
- ④日本企業を知る
- ⑤企業のホームページでIRにアクセス
- ⑥マナー・マネジメントを学ぶ

□日時:4月12日(土)①10:00~11:30 4月19日(土)②10:00~11:30 ③13:00~14:30 5月10日(土)④10:00~11:30 5月18日(日)⑤10:00~11:30 ⑥13:00~14:30 □会場:4階 第3・4集会室 □参加費:無料 □対象:どなたでも □定員:抽選で40名 □申込:3月28日(金)必着(HPからの申込可)

展示会のお知らせ

■大田文化の森運営協議会情報誌創刊50号記念

パネル展&イベント写真記録展

季刊誌「おおた文化の森」の創刊50号を記念したパネル展と写真展を開催します。

大田文化の森運営協議会の歴史をふり返ります。

□開催日時:2014年1月10日(金)~1月14日(火)10:00~17:00 初日:14:00スタート 最終日:16:00終了 □会場:1階 展示コーナー □対象:どなたでも □料金:無料

申し込み・問い合わせ

〒143-0024大田区中央2-10-1 4階大田文化の森運営協議会

電話:03-3772-0770 / FAX:03-3772-0704

ホームページ: <http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■往復はがきに「講座名」・氏名・年齢(学年)・住所・電話番号・「情報誌」を明記(はがき1枚に1講座、原則1名/組まで)。

■保育対象は満6ヶ月以上の未就学児。希望者は企画申込時に上記に加え「保育希望」・対象児の氏名・月齢も明記。1人1回500円。

■特記のない場合は未就学児の同伴はご遠慮ください。

■事前販売のチケットは全自由席、原則大田文化の森1階総合受付で販売。

文化の森イベントスケジュール

イベント開催情報 「文化の森何でもあり」

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちょっといい話」(300字以内)を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合は、info@ota-bunkanomori.jpまで。

誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770

FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.50Web版

2014年1月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 池田 昭宣

Design:NPO法人クリエイター支援機構

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:info@ota-bunkanomori.jp

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

おおた文化の森

大田文化の森運営協議会
情報誌 大田文化の森運営協議会発行情報誌
http://www.ota-bunkanomori.jp/

2014
記念号

Vol.

50

おおた文化の森カタログ 文化の森ってどんなところ?何をやっているの?

Q1. 大田文化の森って?

大田区が2001年11月3日文化の日に開設した区民の文化活動支援のための中心施設です。その目的は、「区民の自主的な文化活動の拠点として、区民が集い、参加して、交流することを目的として旧大田区役所跡地に建設された施設」です。大田文化の森は区民が学び、演じ、交流を行う文化創造の拠点として中心的な役割を果たします。施設の管理運営は、「公益財団法人大田区文化振興協会」があたり、利用しやすく、より親しみやすい施設を目指しています。



Q2. どんな施設なの?

ホール:(定員259名)、集会棟(5階建)、広場(185㎡)で構成され、地下には有料駐車場(30台)があります。1階には、展示コーナー・スポーツスタジオ・音楽室があります。2階には情報館(図書コーナー・マルチメディアコーナー)、3階には集会室・和室・美術室・工芸室・調理室があります。4階には集会室・運営協議会事務室、5階には多目的室があります。



Q3. 運営・管理はどうしているのかな?

■ 施設管理について

施設管理は「(公財)大田区文化振興協会が行っています。集会棟1階に事務室と受付窓口があります。詳しくは、利用案内・HP(ホームページ)をご覧ください。

■ 事業(企画)運営について

事業(企画)運営は、「大田文化の森運営協議会」が行っています。集会棟4階に事務局があります。事業には、様々なものがありますが、大田区長から委嘱された運営委員と任意登録の文化プレイヤー(文化ボランティア)によって、実施、運営しています。



Q4. どんな利用ができるの?

■ 貸館利用する場合

○大田文化の森1階受付で直接申し込む(うぐいすネットへの登録が必要)。

○大田区HPから、[うぐいすネット\(コンピュータを活用した登録制の申込システム\)](#)を利用するか、うぐいすネットが設置されている大田区の集会施設から申し込む。

問い合わせ: 受付窓口(集会棟1階)9:00~19:00

年頭のごあいさつ

大田文化の森運営協議会会長から新年のごあいさつです。[こちらからご覧ください](#)
また、50号を記念し、創刊期に人気だったオリジナルキャラクター「森のはっぴ〜」や過去の情報誌の表紙を飾る予定だった登場人物などをご紹介します。

運営協議会ガイド

運営協議会って何?!

大田文化の森運営協議会は、大田文化の森を拠点に区民の主体的な文化活動を支援するため事業運営を行っている組織です。なかなかわかりにくい活動内容をご紹介します。

「文化の森」を知ろう!

~施設のご紹介~

「大田文化の森」は、様々な施設を有する複合文化施設です。そんな文化施設を、運営協議会では、文化プレイヤーのみなさんがいろんな企画を施設を利用して実施しています。その様々な施設をご紹介します。

2014年度公募企画紹介

今春4月から始まる2014年度の公募企画が決まりました。決定した公募企画をご紹介します。

文化の森館長からのご挨拶 ~愛される文化の森を目指して~

大田文化の森館長 薄根 幸から、50号発行にあわせてご挨拶です。

~歴代編集長からのメッセージ~

発刊50号(記念号)に寄せて

歴代の情報誌編集長からメッセージをいただきました。

「公益財団大田区文化振興協会のご紹介」

文化の森他様々な文化施設を管理運営している公益財団法人大田区文化振興協会の活動内容のご紹介です。

電話/ 03-3772-0700

(公財)大田区文化振興協会HP: [http://www.ota-](http://www.ota-bunka.or.jp/)

[bunka.or.jp/](http://www.ota-bunka.or.jp/)

■ 企画をしてみたい! ボランティアをしたい!(主に文化活動・企画運営のお手伝い)
○活動に参加するには、文化プレーヤーに登録する必要があります。



直接お越しいただいて登録するか、運営協議会HPから登録することもできます。

問い合わせ: 運営協議会事務局(集会棟4階) 9:00~17:00 電話/ 03-3772-0770

大田文化の森運営協議会HP: <http://www.ota-bunkanomori.jp/>



[Googleマップで大きな地図を見る](#)



404. That's an error.

The requested URL /maps/sv was not found on this server. That's all

[Googleマップで大きな地図を見る](#)

バスの場合、どの駅から乗っても「大田文化の森」停留所で下車、徒歩1分

■ 東急池上線池上駅より

東急バス上池上循環 大井町駅行き、品川駅行き、大森駅行きに乗車

■ JR大森駅(西口)より

東急バス上池上循環 池上駅行き、蒲田駅行き、洗足池行きに乗車

文化の森イベントスケジュール



今月もたくさんイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちょっといい話」(300字以内)を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合は、info@ota-bunkanomori.jpまで。

誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■ 往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.50Web版

2014年1月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 池田 昭宣

Design: NPO法人クリエイター支援機構

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail: info@ota-bunkanomori.jp

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■ おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

■JR蒲田駅(西口)

東急バス大井駅行き 荏原町駅入り口行きに乗車

連絡先

■大田文化の森運営協議会事務局

〒143-0024 大田区中央2-10-1

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704